

■国際的水準に満たない空港・港湾アクセス率の向上

空港・港湾へのアクセス道路を急速に整備しているところであるが、高速道路等のICから10分以内のアクセス率が8、9割程度である欧米に比べ、我が国の達成率は61%であるなど未だ十分とは言えず、平成19年度に68%となることを目指してアクセス率の向上を図る。

注) 対象空港：日本／第1種空港及び国際定期便が就航している第2種空港。  
 ：欧米／国際定期便が就航している空港。  
 対象港湾：日本／総貨物取扱量が年間1,000万t以上又は国際貨物取扱量が年間500万t以上の重要港湾及び特定重要港湾（国際コンテナ航路、国際フェリー航路及び内貿ユニット航路のいずれも設定されていないものを除く）。  
 ：欧州／総貨物取扱量が年間1,000万t以上の港湾。  
 ：米国／総貨物取扱量が年間1,000万t以上又は国際貨物取扱量が年間500万t以上の港湾。

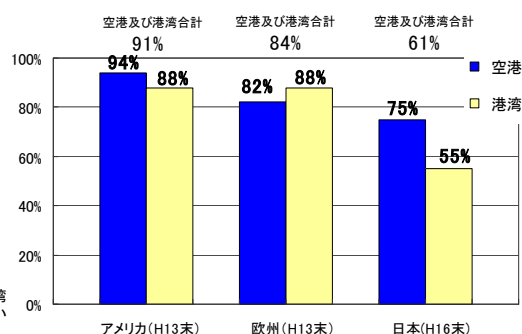


図 11-5 拠点的な空港・港湾と高速道路網のアクセス状況（国際比較）

■ハード・ソフト施策を組み合わせたアクセス道路の走行速度向上

アクセス道路の走行状況（走行速度、混雑度）は、全国平均と比較して混雑度が高く走行速度が遅いものが少なくない。効率的なマルチモーダル交通体系を構築するため、アクセス道路の機能が十分でない箇所を中心に、ソフト施策も含めて走行速度の向上を図る。

■平成17年度アクセス達成予定空港・港湾の事業概要

① 新潟空港（新潟県新潟市）

現在の最寄りICである竹尾ICからのアクセスルートは、平均旅行速度が22.3km/hと混雑が著しいため、アクセスに時間を要していた。特に、竹尾ICは主要渋滞ポイントとして位置づけられ、空港から国道7号新潟バイパスを利用する場合、最大約30分を要している。

平成17年度には、都市計画道路下山江口線が供用されることにより迅速かつ安定した通行が確保され、10分以内のアクセスが可能となる。



図 11-6 新潟空港アクセスルート

② 苅田港（福岡県京都郡苅田町）

平成17年度に東九州自動車道（北九州JCT～苅田北九州空港IC間）が供用されることによって、苅田港へのアクセスが混雑時には25分要しているところ10分以内でアクセス可能となる。

苅田港周辺では、アジアとの近接性や高速交通体系に直結した立地の優位性から、企業立地が進んでいる。特に、トヨタ自動車の愛知県外では初となるエンジン工場の立地決定は、部品メーカーの九州進出を促進し、高速道路ネットワークを活かした九州・西中国地区における拠点化が進むと考えられ、アクセス道路を含む道路ネットワークがその動きを支えることになる。



図 11-7 九州における主な自動車関連進出企業と高速道路ネットワーク

③ 四日市港（三重県四日市市）

現在の最寄りICである伊勢湾岸自動車道みえ川越ICからのアクセスルートは、物流車両と一般交通が輻輳し、四日市港を中心とする激しい渋滞を引き起こしていたが、東名阪自動車道四日市東ICから四日市港へ向かう主要地方道上海老茂福線を4車線化することにより、10分以内のアクセスを可能にする。また、交通流の分散により現行ルートの混雑も緩和され、走行速度が向上し円滑な交通が可能になる。

【関連する平成17年度の主な施策】

- 高規格幹線道路、地域高規格道路等の整備
- アクセス道路の整備・機能向上

(4)バックデータ

【平成16年度末時点における拠点的な空港・港湾への道路アクセス達成状況】

- ポイント： ① 平成16年度に新規達成（中部国際空港）  
 ② 平成17年度に新規達成予定（新潟空港、苅田港、四日市港）

対象空港名	H16 連結	乗降客数	貨物取扱量	対象港湾名	H16 連結	総貨物量	国際貨物量	対象港湾名	H16 連結	総貨物量	国際貨物量
単位		(千人)	(トン)	単位		(千トン)	(千トン)	単位		(千トン)	(千トン)
新千歳	○	18,457	214,808	室蘭	○	39,267	15,162	神戸	○	78,759	38,101
函館		2,375	18,084	苫小牧	○	102,264	18,613	姫路		30,617	14,158
秋田	○	1,350	3,574	函館	○	33,256	758	和歌山下津		42,518	21,997
仙台	○	3,192	18,696	小樽	○	12,906	574	宇野		53,354	1,025
成田国際	○	26,537	2,102,455	釧路		20,705	3,832	水島		96,618	57,454
東京国際	○	62,876	613,589	青森	○	24,816	827	福山	○	47,902	33,879
新潟	②	1,264	2,785	八戸	○	29,865	7,225	広島		16,362	3,764
中部国際	○	① 9,800	162,084	仙台塩釜	○	37,531	9,036	呉	○	23,599	8,585
関西国際	○	14,080	765,636	小名浜		13,558	5,648	徳山下松		62,540	22,616
大阪国際	○	18,830	146,600	大洗	○	12,624	0	岩国		13,670	2,846
広島	○	3,362	26,620	千葉	○	169,559	101,124	宇部	○	31,135	13,767
高松		1,533	10,524	東京	○	88,474	43,329	下関		8,471	2,175
松山		2,672	12,266	横浜	○	125,966	77,858	徳島小松島		9,982	1,719
福岡	○	18,838	240,113	川崎	○	96,327	57,392	高松		57,191	288
大分	○	1,988	15,028	横須賀	○	16,777	2,222	松山		16,485	1,242
長崎	○	2,834	18,109	新潟	○	33,318	15,914	東予	○	14,029	1,294
宮崎	○	3,226	16,616	伏木富山		10,961	7,373	高知		8,929	226
熊本	○	3,054	27,243	清水		18,242	10,093	北九州	○	88,890	30,512
鹿児島	○	6,225	38,567	名古屋	○	172,039	113,996	博多	○	42,107	12,508
那覇		12,545	172,319	三河		22,138	11,579	苅田	②	30,743	6,677
20空港	15箇所	215,037	4,625,716	四日市	②	61,679	40,926	大分		62,566	35,383
				敦賀	○	16,525	3,354	別府	○	9,487	0
				大阪		89,688	32,544	鹿児島		49,453	1,419
				堺泉北	○	66,657	26,060	47港湾	26箇所	2,061,904	849,654

出典：「平成15年分空港管理状況調査」  
 「港湾統計（年報）平成15年」

\* 中部国際空港の旅客数及び貨物取扱量は、名古屋空港のデータである。